

Ⅱ. 研修内容に関すること

1. 研修期間 (8) か月

2. 研修プログラム

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付け て下さい。)		研修場所 (※3)		時間数	研修内容
		講義	演習				
4月	輸液管理 その1	○	○	部署外	研修棟	8時間	静脈注射を安全に実施するための知識を得るために講演と画像を活用。静脈注射や留置針の留置の手順、採血の手順の演習を院内で使用している器材を使って演習。研修責任者と各部署の実地指導者による指導。
4月	看護師の基本的責務	○	○	部署外	研修棟	4時間	日本看護協会の倫理綱領を中心に看護業務に関連する法と倫理について、総看護師長による講演。講演の後、複数の事例を使い自分ではどう考えるか、また、グループで話し合ったときは捉え方の視点がどう増えるのかなどグループワークを行い、まとめとして研修責任者による考え方の整理を行った。
4月	すぐに動ける救急蘇生法 その1	○	○	部署外	研修棟	4時間	心肺蘇生に必要な知識と技術について院内の救急担当の医師による講演。AEDや人体シミュレーターを使用し医師や院内のBLS受講者の指導による演習。
5月	看護記録 パート1	○		部署外	研修棟	4時間	看護記録の基本と院内の記録ガイドラインに沿った記録の実際を学ぶため看護記録担当師長による講演。
5月	コミュニケーション	○	○	部署外	研修棟	4時間	相手に伝わる円滑なコミュニケーションスキルを高める事を目的に緩和ケアカウンセラーの講師による講演とロールプレイ。
5月	新人フォローアップ 1ヶ月目		○	部署外	研修棟	4時間	1ヶ月の振り返りと今の気持ちを話し合い、それを共有することで心身の疲労を和らげるようにグループワーク。
5月	医療安全	○	○	部署外	研修棟	3時間	医療安全の基本的な考え方を学び、医療事故防止行動がとれるように院内の事故対策チームによる講演とリスク感性を磨くためKYT演習。
5月	輸液管理 その2	○	○	部署外	研修棟	2時間	シリンジポンプと輸液ポンプの正確な取り扱いと操作方法が理解でき行動できるように院内の臨床工学技士と各部署の実地指導者による講演と演習。

7月	新人フォローアップ 3ヶ月目 共に分かち合う	○	○	部署外	研修棟	4時間	医療事故やその回避方法、再発防止について事例を用いて病院顧問の医療事故専門担当者による講演。 3ヶ月が経過し今直面している問題を客観的に捉えて解決の方向性が見いだせるようにグループでの情報交換。
7月	看護必要度	○	○	部署外	研修棟	4時間	看護必要度の概念や考え方など基本的な知識について総看護師長による講演と実際に評価ができるように所定の研修を修了した者の指導によるビデオ視聴と評価の実際。
7月	これであなたも読める心電図	○	○	部署外	研修棟	2時間	正常な心電図波形の理解やモニターの管理ができることと不整脈の対処法の実際がわかるということを目的に循環器病棟主任による講演。
7月	移動・移乗	○	○	部署外	研修棟	4時間	移動・移乗の基礎的な技術と患者や環境など臨床の場にあった方法を習得できるように院内の理学療法士と部署の実地指導者による講演と演習。
7月	フィジカルアセスメント: 聴診法	○	○	部署外	研修棟	2時間	呼吸器系の解剖生理を学び聴診の部位や方法の実際について院内の救急看護認定看護師による講演と救急看護認定看護師と実地指導者による演習。
8月	すぐに動ける救急蘇生 その2	○	○	部署外	研修棟	4時間	一次救命処置と二次救命処置の違いやチームでの心肺蘇生法を体験してもらうために院内の麻酔科医と院内のACLSプロバイダーによる講演と演習。
9月	コミュニケーションエラー	○	○	部署外	研修棟	2時間	医療事故におけるコミュニケーションエラーの発生要因とその影響、またアサーティブなコミュニケーションをとる方法について院内の事故対策チームによる講演と事例を用いて演習。
9月	看護記録 パート2	○	○	部署外	研修棟	4時間	院内の記録ガイドラインに基づいた記録ができ、解決すべき患者の問題点があげられるように看護記録担当師長による事例を用いた講演と演習。
9月	新人フォローアップ 6ヶ月目 ファイト・一発	○	○	部署外	研修棟	2時間	KJ法によるグループワークをし悩みの共有と解決策を話し合うことで、自分たちはどうしていったらよいかをまとめてもらった。4名の研修責任者のリードで「今」と「これから」を模造紙に表現しグループ毎にプレゼンテーションを行った。
9月	輸血情報	○	○	部署外	研修棟	2時間	血液製剤の種類と取り扱い、輸血の副作用とその対処法、輸血時の看護のポイント、県内の血液使用状況について講演。講師は赤十字血液センターに依頼した。

11月	リフレッシュ研修		○	部署外	緩和ケア病棟中庭。屋外バーベキュー施設	8時間	午前中は緩和ケア病棟中庭の花壇手入れと花の苗植えをし、徒歩で場所を移動して午後はバーベキュー施設のある場所でバーベキューとレクレーションをしてリフレッシュ。総看護師長と4人の研修責任者で引率。
3月	新人フォローアップ12ヶ月目自分を認めて自信を持とう		○	部署外	研修棟	4時間	1年目の習熟度・達成度を振り返り2年目に向けて課題が明確になるよう研修責任者で関わっていく。

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 形式には講義・演習の当てはまる方に○を記入して下さい。両方に○を記入しても差し支えありません。

※3 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※4 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

各看護単位に、新卒看護師に対しそれぞれ1名ずつ実地指導者として担当を決めている。実地指導者には、中堅看護師で教育モデルとなれる人を選び新人看護師の教育や指導、評価を現場で行っている。実地指導者が不在のときはチームの中の適任者を選び新人看護師の担当としている。また、落ち込みそうになり心の支えが必要と思われるときは年齢の近い看護師を相談役として選んでいる。

看護部門としては、4人の研修責任者を置いているが、病棟師長兼務の教育担当師長となっており看護部門全体の教育も担当している。教育担当師長の下に各部署に1名ずついる教育委員は教育担当者となり、自部署において実地指導者や相談役では困難なときには個別に対応し支援している。

4. 各看護単位では経験できないが、新人看護職に必要な知識・技術の修得方法

実際の現場で使用している器具・器材を使って技術訓練や看護技術面では人体シミュレーターを使って集合教育で疑似体験をしてもらっている。

5. 経験できる技術が少ない場合の工夫

集合教育で事例を使った教育や各部署でロールプレイ等に対応している。

Ⅲ. 新人看護職員の到達度等の評価に関すること

1. 評価時期(自由にご記入ください)

基本的に3ヶ月目、6ヶ月目、1年で技術チェックリストを使って自己評価と実地指導者による他者評価をしている。個人の進み具合で当該部署の師長と実地指導者が相談しながら調整している。

2. 評価者(自由にご記入ください)

自己評価を新人看護師本人が行い、他者評価を実地指導者が主になっているが、師長と相談したり実地指導者不在のときの担当看護師の意見を聞きながら行っている。

3. 評価方法(自由にご記入ください)

看護技術を基礎看護技術習熟度チェックリストを使い3段階で評価をしている。社会人・組織人としての能力の評価を業務遂行、ビジネスマナー、自己管理、人間関係の4つの側面から新人のコンピテンシーチェックリストとして5段階で評価している。

Ⅳ. 指導者等の育成に関すること

1. 実地指導者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

院内の教育体制や実地指導者の役割、新人看護師の現状、コーチング技術、コミュニケーション、評価方法について院内で計画的にプログラムを組んでいる。また、新人と実地指導者の合同研修をしたことで、お互い相手の考えや状況を知る機会になり関係性の形成にも役立った。県内の大学の看護分野だけでなく臨床倫理やカウンセラー分野の先生に講師を依頼したり院内の研修責任者が講師になったりしている。その他院外、特に看護協会の研修を活用して資質の向上を図っている。

2. 教育担当者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

院内の教育体制や教育担当者の役割、コーチング技術等の研修。実地指導者と同じく院内の研修責任者が指導したり、院内外の研修を活用したりしている。

Ⅴ. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

新たな体制を作るには人員の問題があり、既存の体制を効果的に活用する工夫をした。現場のプリセプターに今まで通りの知識や技術、精神的な支援という役割を与えるとプリセプターに負担がかかりすぎるため、知識・技術の教育や指導は中堅看護師に実地指導者の役割を担ってもらうこととし、新人看護師に近い年齢の2年目や3年目の看護師に何でも相談できるように相談役としての役割を担ってもらうことにした。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

不足している物品の購入ができ、実践に近い技術指導ができるようになった。
離職率の低下という評価はまだ出ていないが、研修の受け入れをしているため地域の病院の新人看護師と交流ができる効果はある。